

令和7年度 全国学力学習状況調査 結果報告

浜松市立中ノ町小学校

4月17日に、6年生を対象とした全国学力学習状況調査が行われました。本校の調査結果の概要をお知らせします。

Ⅰ 国語の調査結果から

▲今後対策が必要となる課題

目的や意図に応じて、文章や図表などを結び付けて必要な情報を見付けること

複数の資料を関連付けて処理すること

複数の条件のもと自分の考えを書くこと

漢字を文の中で正しく使うことができること

Ⅰ 番正答率が低かった問題が3三(1)の問題

(1) 【話し合いの様子】の A に当てはまる内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 【資料1】の部①

2 【資料1】の部②

3 【資料1】の部③

4 【資料1】の部④

三 木村さんは、言葉の変化について田中さんと話し合いながら、「資料1」を読み返しています。次の【話し合いの様子】をよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましょう。

【話し合いの様子】

ばくが読んだ二つの資料(「資料2」、「資料3」)には、言葉が変化していることが書かれていたよ。【資料1】に「言葉の正誤を軽々しく決めることはできない」と書かれていることにつながっているよ。

【資料4】

私は、この資料(「資料4」)を見つけたよ。これを見ると、世代によって、「雨模様」の意味のとりえ方にちがいが分かるでしょ。

本当だ。三十代から六十代は本来の意味とはちがう「小雨が降ったりやんだりしている様子」ととらえている人の割合が高いね。

こんなふうに、人によって言葉の意味のとりえ方がちがうと、伝え合うときに困ると思うよ。だから、【資料1】に「A」と書かれているとおりだと思うよ。

言葉の変化についてはいろいろな考え方があるんだね。もう一度【資料1】を読み返して、言葉の変化について自分が一番納得したことをまとめよう。

木村さん 田中さん 木村さん 田中さん 木村さん

「雨模様」の意味のとりえ方

世代	雨が降りそうな様子	小雨が降ったりやんだりしている様子
16-19歳	50.4	31.9
20代	43.5	42.9
30代	53.7	34.1
40代	53.9	33.4
50代	61.2	26.1
60代	52.6	33.6
70歳以上	46.2	39.8

(文化庁「令和4年度国語に関する世論調査」による。)

この問題があるのが16ページ、問題のもととなるのが15ページ、そして問題文に出てくる【資料1】があるのが11ページです。子供たちは複数ページにまたがって問題を解く経験が少ないということも理由の一つかもしれません。複数の資料を関連付けて読む力を付けていきたいと思います。

また、田中さんの発言をどう読み取るかも大切です。「人によって言葉の意味のとりえ方が違う」という文に着目すると、【資料1】の「本来の意味」「本来とは違う使い方」の②の文を選択してしまいます。(実際に2と解答した児童も多かったです)「伝え合うときに困る」という文に着目すると、③の「コミュニケーションの食い違いを放置しておくわけにもいけません」の文を選択できると思います。相手の言いたいことが何かを理解する力も必要になります。

3

木村さんの学級では、言葉の変化について学ぶために、みんなで「資料1」を読みました。そして、「資料1」を読んで一人一人が疑問や興味をもったことについて調べ、分かったことをもとに考えをまとめることにしました。「資料1」をよく読んであとの問いに答えましょう。

【資料1】

言葉は、年月とともに変化していくものです。かつて規範的^{きはんてき}であると考えられていた言葉の形や意味が、現代においては通用しなくなったり、使い方が変わっていきたりする場合は少なくありません。ですから、意味や使い方に揺れが生じている言葉について、「この使いだけが正しい」と決めつけるのは短絡的^{たんらくてき}ともいえるでしょう。①この本を読むとお気づきになると思いますが、文化庁国語課では、言葉の意味について「正しい」「誤り」といった判断をせず、代わりに、②「本来の意味」「本来とは違う使い方」といった言い方に注いでいます。言葉の正誤を軽々しく決めることはできないと考えるからです。

とはいえ、どんな言葉を使ってもいい、というわけではありません。③コミュニケーションの食い違いを放置しておくわけにもいきません。

④「言葉は生きている」とも言われます。その広がりや深さにも、触れていきたいと考えています。

（文化庁国語課「文化庁国語課の動向いしやすい日本語」による）

※1「規範」……判断したり行動したりするときの手本。

※2「短絡」……よく考えもせずに、ものごとを簡単に結びつけてしまうこと。

※3「文化庁」……文化や芸術を広める仕事や、文化財を守る仕事などをする、国の機関。

(2) 木村さんは、「資料1」を読み返して言葉の変化について自分が一番なっとくしたことを、「資料2」、「資料3」、「資料4」に書かれていることを理由にしてまとめることにしました。

あなたが木村さんなら、どのようにまとめますか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 言葉の変化についてなっとくしたことを「資料1」から言葉や文を取り上げて書くこと。
- なっとくした理由を「資料2」、「資料3」、「資料4」の中から選び、言葉や文を取り上げて書くこと。

※次の枠は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。



- 11 -

最後の問題の3三(2)の記述式問題の無答率が全国よりも高かったです。解答時間が足りなかったり、複数の条件のもとで自分の意見を書くことが苦手だったりしたことがわかります。解答の仕方を含めた時間配分のかけ方や速さを含めた書く力の向上も必要かと思ひます。

漢字の問題では、「相手のこのみに合わせて」＝「好み」、「あつい日に」＝「暑い」の正答率が、ともに低かったので文章の意味を考えて漢字を活用できるようにしていきたいと思ひます。